

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

No.	コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
	上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
			コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
236	74.16	74.34	30°~50°の割れ目が密集する。脆弱。	-	-	-	74.16	74.34	74.16~74.34m:30~50°の割れ目が密集し、脆弱である。	-
237	-	-	-	74.16	74.23	微細な割れ目が発達し、マンガンが濃集する。上下端の境界は45°程度で凹凸が著しい。	74.16	74.23	74.16~74.23m:微細な割れ目が発達し、マンガンが濃集する。上下端の境界は45°程度で凹凸が著しい。	-
238	74.19	74.34	(コアの形状欄)Vランク	74.19	74.34	(コアの形状欄)VIランク	74.19	74.34	(コアの形状欄)VIランク	-
239	-	-	-	74.32	74.32	傾斜48°で幅3~5mmの砂混じり灰黄色粘土を挟む。	74.32	74.32	74.32m:傾斜48°で幅3~5mmの砂混じり灰黄色粘土を挟む。	-
240	74.34	75.18	(割れ目状態欄)cランク	74.34	75.18	(割れ目状態欄)bランク	74.34	75.18	(割れ目状態欄)bランク	-
241	-	-	-	74.63	74.63	傾斜60°で幅3~5mmの黄褐色の砂混じり粘土を挟む。周囲は細片化している。	74.63	74.63	74.63m:傾斜60°で幅3~5mmの黄褐色の砂混じり粘土を挟む。周囲は細片化する。	-
242	75.00	75.18	(コアの硬さ欄)Cランク	75.00	75.18	(コアの硬さ欄)Bランク	75.00	75.18	(コアの硬さ欄)Bランク	-
243	75.05	75.29	20~40°の低角度の割れ目がほぼ平行して卓越する。	-	-	-	75.05	75.29	75.05~75.29m:20~40°の低角度の割れ目がほぼ平行して卓越する。	-
244	75.77	76.29	割れ目沿いに劣化が見られ、やや脆弱となる。	75.97	76.25	割れ目沿いに劣化が見られ、やや脆弱となる。	75.97	76.25	75.97~76.25m:割れ目沿いに劣化が見られ、やや脆弱となる。	-
245	-	-	-	76.17	76.17	傾斜51°で幅1~3mmの明褐色粘土を挟む。上端側は一部灰白色粘土が網目状に分布し、変質が進んでいる。	76.17	76.17	76.17m:傾斜51°で幅1~3mmの明褐色粘土を挟む。上端側は一部灰白色粘土が網目状に分布し、変質が進む。	-
246	-	-	-	76.25	77.80	アブライト 径1~2mmの石英、長石、黒雲母を2~3%含む。上下端の境界はゆるぎ不分明。	76.25	77.80	76.25~77.80m:アブライト 径1~2mmの石英、長石、黒雲母を2~3%含む。上下端の境界はゆるぎ不分明。	-
247	76.25	77.80	(地質名欄)Gp	76.25	77.80	(地質名欄)Ap	76.25	77.80	(地質名欄)アブライト	-
248	-	-	-	76.61	76.61	傾斜54°で幅1~3mmの明褐色粘土を挟む。	76.61	76.61	76.61m:傾斜54°で幅1~3mmの明褐色粘土を挟む。	-
249	-	-	-	76.80	76.80	傾斜45°で幅1~6mmの砂混じり灰白色粘土を挟む。	76.80	76.80	76.80m:傾斜45°で幅1~6mmの砂混じり灰白色粘土を挟む。	-
250	-	-	-	76.90	76.90	傾斜90°で幅1~3mmのマンガンを挟む。	76.90	76.90	76.90m:傾斜90°で幅1~3mmのマンガンを挟む。	-
251	-	-	-	77.19	77.19	傾斜50°で幅5mm程度の黄褐色粘土を挟む。	77.19	77.19	77.19m:傾斜50°で幅5mm程度の黄褐色粘土を挟む。	-
252	77.47	77.67	(コアの硬さ欄)Dランク	77.48	77.67	(コアの硬さ欄)Dランク	77.48	77.67	(コアの硬さ欄)Dランク	-
253	77.48	77.67	割れ目、特に低角度のもの沿いに劣化が見られ、コアは軟質となりザラつく。	77.48	77.67	割れ目、特に20°程度の低角度のもの沿いに劣化が見られ、コアは軟質となりザラつく。 77.55~77.60m間はマンガンが濃集する。	77.48	77.67	77.48~77.67m:20°程度の低角度割れ目沿いに劣化が見られ、コアは軟質となりザラつく。77.55~77.60m間はマンガンが濃集する。	-
254	77.67	77.94	(割れ目状態欄)cランク	77.67	77.94	(割れ目状態欄)bランク	77.67	77.94	(割れ目状態欄)bランク	-
255	77.96	78.08	割れ目に沿って劣化が見られ、砂状の挟在物が明瞭。	77.96	78.08	割れ目に沿って劣化が見られ、黄褐色の砂状の挟在物が明瞭。	77.96	78.08	77.96~78.08m:割れ目沿いに劣化し、黄褐色の砂状の挟在物を伴う。	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容				報告書柱状図記事				コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	記事	選定した記事内容			
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>							
256	78.21	78.51			多方向の割れ目が見られ、やや脆弱。	78.21	78.51	多方向の割れ目が見られ、やや脆弱。	78.21	78.51	78.21~78.51m:多方向の割れ目が見られ、やや脆弱である。	-
257	-	-			-	78.20	78.20	傾斜24°で幅10mm程度が砂~細片状を呈する。	78.20	78.20	78.29m:傾斜24°で幅10mm程度が砂~細片状を呈する。	-
258	-	-			-	78.47	78.71	割れ目沿いにマンガン汚染が目立つ。	78.47	78.71	78.47~78.71m:割れ目沿いにマンガン汚染が目立つ。	-
259	70.47	70.71			(割れ目状態欄)○ランク	78.47	78.71	(割れ目状態欄)○ランク	78.47	78.71	(割れ目状態欄)○ランク	-
260	78.90	79.03			(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)CL	78.90	79.03	(コアの形状欄)Vランク (岩級区分欄)CM	78.90	79.03	(コアの形状欄)Vランク (岩級区分欄)CMに含める	-
261	79.23	79.67			(岩級区分欄)CL	79.23	79.67	(岩級区分欄)CM	79.23	79.67	(岩級区分欄)CMに含める	-
262	79.45	79.52			マンガンの短い筋状の汚染が多数見られる。高角度のものが多い。この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。	79.45	79.57	マンガンの短い筋状の汚染が多数見られる。高角度のものが多い。この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。	79.45	79.57	79.45~79.57m:短い筋状のマンガン汚染が多数見られる。高角度のものが多い。この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。	-
263	79.67	80.13			(割れ目状態欄)○ランク	79.67	80.13	(割れ目状態欄)○ランク	79.67	80.13	(割れ目状態欄)○ランク	-
264	79.67	79.82			(岩級区分欄)CL	79.67	79.82	(岩級区分欄)CM	79.67	79.82	(岩級区分欄)CM	-
265	80.13	80.29			35~55°の同方向の割れ目が密集する。	80.13	80.29	35~55°の同方向の割れ目が密集する。 マンガン汚染が目立ち、脱色も見られる。	80.13	80.29	80.13~80.29m:35~55°の同方向の割れ目が密集する。マンガン汚染が目立ち、脱色も見られる。	-
266	80.13	80.51			(岩級区分欄)CL	80.13	80.51	(岩級区分欄)CM	80.13	80.51	(岩級区分欄)CMに含める	-
267	80.29	80.51			割れ目の頻度はやや少なくなるが、割れ目沿いの劣化は明瞭。	-	-	-	80.29	80.51	80.29~80.51m:割れ目はやや少なくなるが、割れ目沿いの劣化は明瞭である。	-
268	80.29	84.46			(変質欄)○ランク	80.29	84.46	(変質欄)○ランク	80.29	84.46	(変質欄)○ランク	-
269	80.51	81.02			割れ目には挟在物が見られるものが多いが、岩質は硬い。	80.51	81.02	割れ目には挟在物が見られず、岩質は硬い。	80.51	81.02	80.51~81.02m:割れ目に挟在物が見られず、岩質は硬い。	-
270	80.51	81.02			(コアの形状欄)IVランク (割れ目状態欄)○ランク (岩級区分欄)CM	80.51	81.02	(コアの形状欄)IIランク (割れ目状態欄)○ランク (岩級区分欄)CH	80.51	81.02	(コアの形状欄)IIランク (割れ目状態欄)○ランク (岩級区分欄)CH	-
271	81.02	81.30			(コアの硬さ欄)○ランク (岩級区分欄)CL	81.02	81.30	(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM	81.02	81.30	(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM	-
272	81.30	81.96			割れ目の挟在物も薄く、岩質も硬質。高角度の微細な割れ目が見られるが、完全に密着している。	81.30	81.96	割れ目の挟在物も薄く、岩質も硬質。90°の高角度の微細な割れ目が見られるが、完全に密着している。	81.30	81.96	81.30~81.96m:割れ目の挟在物も薄く、岩質も硬質である。90°の高角度の微細な割れ目が見られるが、完全に密着する。	-
273	81.30	82.70			(割れ目状態欄)○ランク	81.30	82.70	(割れ目状態欄)○ランク	81.30	82.70	(割れ目状態欄)○ランク	-
274	82.48	82.83			(コアの硬さ欄)○ランク	82.48	82.83	(コアの硬さ欄)Bランク	82.48	82.83	(コアの硬さ欄)Bランク	-
275	81.96	82.83			(岩級区分欄)CL	81.96	82.83	(岩級区分欄)CM	81.96	82.83	(岩級区分欄)CM	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名: H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
276	-	-	82.70	82.70	傾斜50° 前後の割れ目に幅1~3mmの褐色粘土を挟む。	82.70	82.83	82.70m、82.83m: 傾斜50° 前後で幅1~3mmの褐色粘土を挟む。	記事内容が同じであるため、82.83mの深度も含めて記載した
277	-	-	82.83	82.83	傾斜50° 前後の割れ目に幅1~3mmの褐色粘土を挟む。	-	-	-	上記にまとめ書きしたため記載しない
278	82.83	83.32	82.83	83.32	(岩級区分欄)CL	82.83	83.32	(岩級区分欄)CMIに含める	
279	83.08	83.32	83.08	83.32	割れ目に沿った褐色汚染が明瞭。汚染は、割れ目沿いのみならず、コアの半分程度に及ぶ。	83.08	83.32	83.08~83.32m: 40° 前後の割れ目沿いに褐色汚染が明瞭である。汚染は、割れ目沿いのみならず、一部は岩芯まで褐色化する。多方向の微細な割れ目が発達する。	
280	-	-	83.31	83.31	傾斜38° 前後の割れ目に幅0~8mmの暗褐色粘土を挟む。径1cm以下の岩片を多く含む。	83.31	83.31	83.31m: 傾斜38° 前後で幅0~8mmの暗褐色粘土を挟む。径1cm以下の岩片を多く含む。	
281	83.32	84.09	83.32	84.09	(割れ目状態欄)cランク	83.32	84.09	(割れ目状態欄)bランク	
282	84.09	84.77	84.09	84.77	割れ目が卓越し、岩質も軟質となる。特に84.39~85.58間は劣化が進み、脆弱。	84.09	84.77	84.09~84.77m: 多方向の割れ目が発達し、岩質も軟質である。特に84.15~84.18m、84.39~84.58m間は劣化が進み、脆弱。黄色味を帯びて細片状を呈する。	
283	84.58	93.13	84.58	93.13	(変質欄)3ランク	84.58	93.13	(変質欄)2ランク	
284	84.81	84.94	84.81	84.94	(コアの形状欄)Vランク	84.81	84.94	(コアの形状欄)IVランク	
285	84.81	85.86	84.81	85.86	(割れ目状態欄)cランク	84.81	85.86	(割れ目状態欄)bランク	
286	84.81	85.73	84.81	85.73	(岩級区分欄)CL	84.81	85.73	(岩級区分欄)CM	
287	85.73	85.97	85.73	85.97	高角度の2条の割れ目に挟まれた範囲で割れ目が卓越。岩片状となる。	85.73	85.97	85.73~85.97m: 70~80° の高角度の2条の割れ目に挟まれた範囲で割れ目が発達し、岩片状となる。	
288	85.73	85.97	85.73	85.97	(岩級区分欄)CL	85.73	85.97	(岩級区分欄)CMIに含める	
289	85.97	86.73	85.97	86.73	(割れ目状態欄)cランク	85.97	86.73	(割れ目状態欄)bランク	
290	85.97	86.14	85.97	86.14	(岩級区分欄)CL	85.97	86.14	(岩級区分欄)CM	
291	86.73	86.83	86.73	86.83	上下の割れ目(節理)に挟まれた区間で局所的に砂~礫状となる。	86.73	86.83	86.73~86.83m: 上端37°、下端40° の割れ目に挟まれた区間で局所的に明褐色の砂~礫状となる。	
292	86.73	86.83	86.73	86.83	(岩級区分欄)D	86.73	86.83	(岩級区分欄)CMIに含める	
293	86.83	86.96	86.83	86.96	(割れ目状態欄)cランク	86.83	86.96	(割れ目状態欄)bランク	
294	86.83	88.16	86.83	88.16	(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)CM	86.83	88.16	(コアの形状欄)IIIランク (岩級区分欄)CH	

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

コア観察カード			通正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの通正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
295	86.96	88.03	86.83	88.03	傾斜60° 前後の割れ目面や割れ目治いは、褐色やマンガンの汚染が明瞭であるが、挟在物はほとんど見られない。岩質も硬い。	86.83	88.03	86.83~88.03m:傾斜60° 前後の割れ目面や割れ目治いは、褐色やマンガンの汚染が明瞭であるが、挟在物はほとんど見られず、岩質も硬い。	-
296	-	-	87.11	87.11	傾斜60° で幅5mm程度が緑色化している。	87.11	87.11	87.11m:傾斜60° で幅5mm程度が緑色化する。	-
297	88.03	88.16	88.03	88.16	(割れ目状態欄)○ランク	88.03	88.16	(割れ目状態欄)○ランク	-
298	88.26	88.62	88.26	88.62	(岩級区分欄)CL	88.26	88.62	(岩級区分欄)CMに含める	-
299	-	-	88.59	88.59	傾斜43° の割れ目に幅1mm以下の灰白色粘土を不連続に挟む。周辺は幅3mm程度でわずかに緑色化している。	88.59	88.59	88.59m:傾斜43° で幅1mm以下の灰白色粘土を不連続に挟む。周辺は幅3mm程度でわずかに緑色化する。	-
300	88.62	88.88	88.62	88.88	(割れ目状態欄)○ランク	88.62	88.88	(割れ目状態欄)○ランク	-
301	88.88	89.00	88.88	89.00	(岩級区分欄)CL	88.88	89.00	(岩級区分欄)CMに含める	-
302	88.96	88.96	88.96	88.96	45° の割れ目の下盤側劣化し局所的に非常に脆弱。上盤側は巾20mmマンガンの汚染がコアに明瞭。	88.96	88.96	88.96m:45° の割れ目の下盤側が劣化し局所的に非常に脆弱である。上盤側は幅20mmで酸化汚染及びマンガンの汚染がコアに明瞭に見られる。	-
303	89.00	89.27	89.00	89.27	(割れ目状態欄)○ランク	89.00	89.27	(割れ目状態欄)○ランク	-
304	89.27	89.44	89.27	89.44	微細な割れ目が卓越する。コアも幾分軟質。	89.27	89.44	傾斜45° 前後の微細な割れ目が0.5~3cm程度の間隔で発達する。コアも幾分軟質。	89.27~89.44m:傾斜45° 前後の微細な割れ目が0.5~3cm程度の間隔で発達し、コアもやや軟質である。
305	89.27	89.44	89.27	89.44	(岩級区分欄)CL	89.27	89.44	(岩級区分欄)CMに含める	-
306	89.44	90.36	89.44	90.36	(割れ目状態欄)○ランク	89.44	90.36	(割れ目状態欄)○ランク	-
307	89.44	89.50	89.44	89.50	(岩級区分欄)CI	89.44	89.50	(岩級区分欄)CM	-
308	89.00	90.00	89.00	90.00	(RQD欄)20	89.00	90.00	(RQD欄)0	-
309	-	-	90.64	90.64	傾斜54° で幅2mm程度のマンガンを含み、周辺は幅1cm程度緑色化している。	90.64	90.64	90.64m:傾斜54° で幅2mm程度のマンガンを含み、周辺は幅1cm程度緑色化する。	-
310	90.75	91.96	90.75	91.96	微細な高角度の割れ目が卓越する。高角度の割れ目は、50° 以下の低角度の顕在化した割れ目に切られるものが多い。	90.75	91.96	傾斜54° で幅2mm程度のマンガンを含み、周辺は幅1cm程度緑色化する。	90.75~91.96m:微細な高角度の割れ目が卓越する。高角度の割れ目は、50° 以下の顕在化した割れ目に切られているものが多い。50° 以下の割れ目治いは、50° 以下の低角度の顕在化した割れ目に切られるものが多い。50° 以下の割れ目治いは、50° 以下の低角度の顕在化した割れ目に切られるものが多い。50° 以下の割れ目治いは、50° 以下の低角度の顕在化した割れ目に切られるものが多い。

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)				
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容					
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>								
311	91.45	91.45				48° 剪断性の割れ目(節理)、幅6mmで幾分破砕され、緑色味を帯びる。	91.45	91.45	40° せん断性の割れ目(節理)、幅6mmで幾分破砕され、緑色味を帯びる。挟在する細粒部はせん滅する。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	91.45	91.45	91.45m:48° で幅6mmが緑色を帯びる。割れ目に挟在する細粒部はせん滅する。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	-
312	92.55	92.71				高角度と低角度の割れ目が交叉し、亀甲状となる。岩質もやや軟質である。	92.55	92.71	多方向の割れ目が交叉し、亀甲状となる。岩質もやや軟質である。	92.55	92.71	92.55~92.71m:多方向の割れ目が交叉し亀甲状となる。岩質もやや軟質である。	-
313	-	-				-	92.94	92.96	傾斜27~40° の2条の割れ目に挟まれた区間が黄色味を帯びる。やや軟質。	92.94	92.96	92.94~92.96m:傾斜27~40° の2条の割れ目に挟まれた区間が黄色味を帯びてやや軟質である。	-
314	93.13	93.22				破砕帯	93.13	93.22	破砕帯(最新活動面は93.13mか93.14mの可能性はある)			●93.13~93.22m:破砕帯 93.13~93.14m:粘土状部(Hc-1) 傾斜30°:淡黄色を呈する。幅12mm。 93.14~93.22m:粘土混じり礫状部(Hj) 上端30°、下端50°でいずれも直線的に連続。径2~10mmの岩片主体で岩片間にわずかに灰白色粘土細脈を挟む。にぶい黄橙色を呈する。幅67mm。	●破砕 原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織の有無、境界面や細粒部の連続性・直線性、最新活動面の記載は別資料で示すこととし、柱状図には記載しない。
315	93.13	93.13				上盤30°、粘土12mm、主	93.13	93.14	上下端30°、粘土12mm主 軟質な淡黄色粘土(Hc-1)。直線的に連続する。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られない。	93.13	93.22		
316	93.22	93.22				下盤50° 粘土なし。上盤の下側50mm軟質で粘土脈が見られる。	93.14	93.22	粘土混じり礫状部(Hj) にぶい黄橙色を呈する。上端30°、下端50°。径2~10mmの岩片主体。軟質であるが、含まれる灰白色粘土細脈は局所的に分布する。原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織は見られる。幅67mm。				
317	93.13	93.22				(コアの硬さ欄)Oランク (コアの形状欄)Vランク (割れ目状態欄)cランク	93.13	93.22	(コアの硬さ欄)Eランク (コアの形状欄)IVランク (割れ目状態欄)dランク	93.13	93.22	(コアの硬さ欄)Eランク (コアの形状欄)IVランク (割れ目状態欄)dランク	-
318	-	-				-	93.13	93.14	(破砕度区分)Hc-1	93.13	93.14	(破砕度区分)Hc-1	-
319	-	-				-	93.14	93.22	(破砕度区分)Hj	93.14	93.22	(破砕度区分)Hj	-
320	93.22	93.37				(コアの形状欄)Vランク	93.22	93.37	(コアの形状欄)IVランク	93.22	93.37	(コアの形状欄)IVランク	-
321	93.22	98.56				(変質欄)3ランク	93.22	98.56	(変質欄)2ランク	93.22	98.56	(変質欄)2ランク	-
322	93.57	94.18				(コアの形状欄)Vランク	93.57	94.18	(コアの形状欄)IVランク	93.57	94.10	(コアの形状欄)IVランク	-
323	93.70	93.88				(コアの硬さ欄)Oランク	93.70	93.88	(コアの硬さ欄)Bランク	93.70	93.88	(コアの硬さ欄)Bランク	-
324	93.70	94.18				(割れ目状態欄)cランク	93.70	94.18	(割れ目状態欄)bランク	93.70	94.18	(割れ目状態欄)bランク	-
325	93.70	94.76				(岩級区分欄)CL	93.70	94.76	(岩級区分欄)CM	93.70	94.76	(岩級区分欄)CM	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート (H27-B-4)

孔名: H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
326	94.38	94.40	94.38	94.40	せん断性の節理2条。割れ目沿いに劣化し脆弱となる。挟在する灰黄色粘土は不連続で、この区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められる。系統的な割れ目は存在しない。	94.38	94.40	94.38~94.40m: 2条の割れ目沿いに劣化し脆弱となる。挟在する灰黄色粘土は不連続で、この区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められる。系統的な割れ目は存在しない。	-
327	94.40	94.76	94.40	94.76	(コアの形状欄) Vランク (割れ目状態欄) bランク	94.40	94.76	(コアの形状欄) IVランク (割れ目状態欄) bランク	-
328	95.08	95.37	95.08	95.37	35~60°の平行した割れ目に沿って弱い変質作用を受ける。割れ目沿いはやや緑色味を帯びる。	95.08	95.37	35~60°の平行した割れ目に沿って弱い変質作用を受ける。割れ目沿いはやや緑色味を帯びる。95.37mの割れ目に幅1mmの灰黄色粘土を挟む。	-
329	95.65	95.75	95.65	95.75	劣化し脆弱となる。輝沸石が散在し(熱水の影響)光る。	95.65	95.75	傾斜60°、幅3cm程度で劣化し脆弱となる。絹雲母が散在し(熱水の影響)光る。砂礫状を呈する。	-
330	96.20	96.20	96.20	96.20	30°の剪断性の割れ目(節理)。幅30~40mmで脆弱。軟質となり弱い破砕を受ける。一部緑色味を帯びる。	96.20	96.20	30°のせん断性の割れ目(節理)。幅30~40mmで脆弱。軟質となり弱い破砕を受ける。一部緑色味を帯びる。 下端側幅1cm程度は砂礫状を呈するが、含まれる礫や岩片に定向配列は見られない。脆弱部の境界は不明瞭で凹凸があり、脆弱部周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	-
331	96.42	97.10	96.22	97.10	(色調欄) 7.5YR8/6 浅黄橙	96.22	97.10	(色調欄) 浅黄橙	-
332	96.53	97.00	96.53	97.00	(割れ目状態欄) cランク	96.53	97.00	(割れ目状態欄) bランク	-
333	96.53	97.10	96.53	97.10	(コアの硬さ欄) Dランク	96.53	97.10	(コアの硬さ欄) Cランク	-
334	96.85	97.00	96.85	97.00	(コアの形状欄) Vランク	96.85	97.00	(コアの形状欄) IVランク	-
335	-	-	96.96	96.96	-	96.96	96.96	傾斜52°で幅1.5cm程度が緑色化している。	-
336	97.10	97.58	97.10	97.58	割れ目が著しく卓越し、粗砂と岩片が入り混じった状態のコアとなる。	97.10	97.58	97.10~97.58m、97.81~98.03m: 割れ目が著しく発達し、砂礫状を呈する。コアが乱れている。	記事内容が同じであるため、97.81~98.03mの深度も含めて記載した
337	97.58	97.81	97.58	97.81	(岩級区分欄) C1	97.58	97.81	(岩級区分欄) Dに含める	-
338	97.81	98.03	97.81	98.03	割れ目が著しく卓越し、粗砂と岩片が入り混じった状態のコアとなる。	97.81	98.03	-	上記にまとめ書きしたため記載しない
339	98.02	98.27	98.03	98.27	短柱状~岩片状コア。割れ目に沿った劣化が顕著。	98.03	98.27	98.03~98.27m: 短柱状~岩片状コアからなる。傾斜40~60°の割れ目に沿った劣化が顕著である。	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート (H27-B-4)

孔名: H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
340	98.03	98.56		98.03	98.56		98.03	98.56	(コアの硬さ欄) Dランク	-
341	98.27	98.56		98.27	98.56		98.27	98.56	(コアの形状欄) IVランク	-
342	99.27	99.53	柱状～短柱のコアとして採取されるが、密着した微細な割れ目が非常に多く、軟質でコア表面はザラつく。	98.27	99.53	柱状～短柱状のコアとして採取されるが、密着した微細な割れ目が非常に多く、軟質でコア表面はザラつく。	98.27	99.53	98.27～99.53m: 柱状～短柱状コアからなるが、密着した微細な割れ目が非常に多く、軟質でコア表面はザラつく。	-
343	-	-	-	98.64	98.64	傾斜30°で幅5mm以下の灰白色粘土を挟む。	98.64	98.64	98.64m: 傾斜30°で幅5mm以下の灰白色粘土を挟む。	-
344	-	-	-	98.70	98.74	マンガン濃集部	98.70	98.74	98.70～98.74m: マンガンが濃集する。	-
345	98.86	99.00		98.86	99.00		98.86	99.00	(コアの硬さ欄) Dランク	-
346	98.86	108.44		98.86	108.44		98.86	108.44	(変質欄) 2ランク	-
347	99.05	99.10	局所的に劣化が進み礫状となる。汚染も顕著。99.10m付近 輝沸石が明瞭に見られる。	99.05	99.10	局所的に劣化が進み礫状となる。酸化汚染も顕著。99.10m付近 絹雲母が多く見られる。傾斜50°で幅1.5cm程度が緑色化している。	99.05	99.10	99.05～99.10m: 局所的に劣化が進み礫状となる。酸化汚染も顕著である。99.10m付近に絹雲母が多く見られる。傾斜50°で幅1.5cm程度が緑色化する。	-
348	99.10	99.62		99.10	99.62		99.10	99.62	(コアの硬さ欄) Dランク	-
349	99.53	101.30		99.53	101.30		99.53	101.30	(割れ目状態欄) cランク	-
350	100.28	100.28	50°～55°の割れ目中に砂状の破砕物を厚さ2～4mm挟む。褐色汚染明瞭。	100.28	100.28	50°～55°の割れ目中に赤褐色の砂状の破砕物挟在物を厚さ2mmで不連続に挟む。褐色汚染明瞭。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	100.28	100.28	100.28m, 100.30m: 50～55°で幅2～4mmの赤褐色の砂状の破砕物挟在物を不連続に挟む。褐色汚染が明瞭である。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	記事内容が同じであるため、100.30mの深度も含めて記載した
351	100.30	100.30	50°～55°の割れ目中に砂状の破砕物を厚さ2～4mm挟む。褐色汚染明瞭。	100.30	100.30	50°～55°の割れ目中に赤褐色の砂状の破砕物挟在物を厚さ4mmで不連続に挟む。褐色汚染明瞭。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	-	-	-	上記にまとめ書きしたため記載しない
352	100.44	100.58		100.44	100.58		100.44	100.58	(コアの形状欄) IIIランク	-
353	100.45	100.45	25°の低角度割れ目の周辺に鮮やかな青色の変質鉱物が見られる。この鉱物は塩酸で溶けないことから孔雀石ではなく、珪孔雀石の可能性が高い。	100.45	100.45	25°の低角度割れ目の周辺に鮮やかな緑色の変質鉱物(緑泥石)が見られる。この鉱物は塩酸で溶けないことから孔雀石ではなく、珪孔雀石の可能性が高い。	100.45	100.45	100.45m: 25°の低角度割れ目の周辺に鮮やかな緑色の緑泥石が見られる。	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

No.	コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
	上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
			コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
354	101.07	101.30	(コアの硬さ欄)Gランク (岩級区分欄)CL	101.07	101.30	(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM	101.07	101.30	(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM	-
355	101.24	101.30	(コアの形状欄)Vランク	101.24	101.30	(コアの形状欄)IVランク	101.24	101.30	(コアの形状欄)IVランク	-
356	101.30	101.43	(岩級区分欄)CL	101.30	101.43	(岩級区分欄)CM	101.30	101.43	(岩級区分欄)CMに含める	-
357	101.31	101.43	低角度を主体としたの割れ目が集中。割れ目沿いの劣化も明瞭。一部局所的に隙状となる。	101.31	101.43	5~20°の低角度を主体としたの割れ目が集中。割れ目沿いの劣化も明瞭。一部局所的に隙状となる。	101.31	101.43	101.31~101.43m、5~20°の低角度を主体とした割れ目が密集する。割れ目沿いの劣化も明瞭で、一部局所的に隙状となる。	-
358	-	-	-	101.34	101.34	傾斜51°で幅5~10mmの褐色砂状部を挟む。径2~5mmの岩片を含む。	101.34	101.34	101.34m、傾斜51°で幅5~10mmの褐色砂状部を挟む。径2~5mmの岩片を含む。	-
359	101.43	102.23	柱状~長柱状のコアが主体。岩質も堅硬である。	-	-	-	101.43	102.23	101.43~102.23m、柱状~長柱状コアが主体で、岩質も堅硬である。	-
360	102.23	102.37	割れ目がやや卓越。102.23m、102.25mは剪断性の節理で、割れ目沿いの劣化が明瞭。	102.23	102.37	傾斜50°の割れ目がやや卓越。102.23m、102.25mはせん断性の節理で、割れ目沿いの劣化が明瞭。幅1~5mmの砂混じり黄褐色シルトを挟む。2条の割れ目の間及び周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	102.23	102.37	102.23~102.37m、傾斜50°の割れ目がやや卓越し、102.23m、102.25mは割れ目沿いの劣化が明瞭である。幅1~5mmの砂混じり黄褐色シルトを挟む。2条の割れ目の間及び周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	-
361	102.23	102.37	(割れ目状態欄)bランク	102.23	102.37	(割れ目状態欄)cランク	102.23	102.37	(割れ目状態欄)cランク	-
362	102.23	102.56	(岩級区分欄)CL	102.23	102.56	(岩級区分欄)CH	102.23	102.56	(岩級区分欄)CHに含める	-
363	102.37	102.89	(コアの硬さ欄)Gランク	102.37	102.89	(コアの硬さ欄)Bランク	102.37	102.89	(コアの硬さ欄)Bランク	-
364	102.56	103.37	(コアの形状欄)IVランク	102.56	103.37	(コアの形状欄)IIIランク	102.56	103.37	(コアの形状欄)IIIランク	-
365	102.56	102.89	(岩級区分欄)CL	102.56	102.89	(岩級区分欄)CH	102.56	102.89	(岩級区分欄)CH	-
366	102.89	103.37	(岩級区分欄)CM	102.89	103.37	(岩級区分欄)CH	102.89	103.37	(岩級区分欄)CH	-
367	103.37	103.40	(コアの硬さ欄)Bランク (コアの形状欄)IVランク	103.37	103.40	(コアの硬さ欄)Dランク (コアの形状欄)Vランク	103.37	103.40	(コアの硬さ欄)Dランク (コアの形状欄)Vランク	-
368	103.37	103.72	(割れ目状態欄)bランク	103.37	103.72	(割れ目状態欄)cランク	103.37	103.72	(割れ目状態欄)cランク	-
369	103.40	103.55	(コアの硬さ欄)Gランク	103.40	103.55	(コアの硬さ欄)Dランク	103.40	103.55	(コアの硬さ欄)Dランク	-
370	103.40	103.55	(岩級区分欄)CL	103.40	103.55	(岩級区分欄)CM	103.40	103.55	(岩級区分欄)CMに含める	-
371	103.40	103.55	高角度主体の微細な割れ目が卓越する。	103.40	103.55	傾斜40~50°の割れ目の間に高角度の微細な割れ目が分布する。割れ目に沿ったマンガン汚染が見られる。	103.40	103.55	103.40~103.55m、傾斜40~50°の割れ目の間に高角度の微細な割れ目が分布する。割れ目に沿ったマンガン汚染が見られる。	-
372	103.55	103.72	(コアの硬さ欄)Bランク	103.55	103.72	(コアの硬さ欄)Gランク	103.55	103.72	(コアの硬さ欄)Gランク	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
373	104.03	104.17	50°～60°の剪断性の割れ目(節理)が卓越する。	104.03	104.17	50°～60°のせん断性の割れ目(節理)が卓越する。これとほぼ直交する割れ目は横断しているものが見られる。割れ目沿いの細粒部は局所的に分布する。この区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められる。	104.03	104.17	104.03～104.17m:50°～60°の割れ目が卓越し、これとほぼ直交する割れ目は横断するものが見られる。割れ目沿いの細粒部は局所的に分布する。この区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められる。	-
374	104.03	104.17	(割れ目状態欄)bランク	104.03	104.17	(割れ目状態欄)bランク	104.03	104.17	(割れ目状態欄)bランク	-
375	104.03	104.17	(岩級区分欄)OL	104.03	104.17	(岩級区分欄)CM	104.03	104.17	(岩級区分欄)CMに含める	-
376	104.17	104.30	(コアの硬さ欄)Cランク	104.17	104.30	(コアの硬さ欄)Bランク	104.17	104.30	(コアの硬さ欄)Bランク	-
377	104.17	104.36	(コアの形状欄)IVランク	104.17	104.36	(コアの形状欄)Ⅲランク	104.17	104.36	(コアの形状欄)Ⅲランク	-
378	104.17	104.67	(岩級区分欄)OL	104.17	104.67	(岩級区分欄)CM	104.17	104.67	(岩級区分欄)CM	-
379	104.50	104.90	コアは斑状の褐色汚染が明瞭である。	-	-	-	104.50	104.90	104.50～104.90m:斑状の褐色汚染が明瞭である。	-
380	104.67	105.08	(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)CM	104.67	105.08	(コアの形状欄)Ⅲランク (岩級区分欄)CH	104.67	105.08	(コアの形状欄)Ⅲランク (岩級区分欄)CH	-
381	105.08	105.80	柱状コアが主体で岩質も堅硬。	-	-	-	105.08	105.80	105.08～105.80m:柱状コアが主体で岩質も堅硬である。	-
382	105.80	106.09	(コアの形状欄)IVランク	105.80	106.09	(コアの形状欄)Ⅲランク	105.80	106.09	(コアの形状欄)Ⅲランク	-
383	106.31	106.38	局所的に割れ目が集中する。割れ目沿いの劣化も僅かに見られる。	106.31	106.38	局所的に傾斜10～45°の割れ目が集中する。割れ目沿いの劣化もわずかに見られる。	106.31	106.38	106.31～106.38m:局所的に傾斜10～45°の割れ目が密集し、割れ目沿いの劣化もわずかに見られる。	-
384	106.37	107.47	(割れ目状態欄)cランク	106.37	107.47	(割れ目状態欄)bランク	106.37	107.47	(割れ目状態欄)bランク	-
385	106.52	108.44	(岩級区分欄)CM	106.52	108.44	(岩級区分欄)CH	106.52	108.44	(岩級区分欄)CHに含める	-
386	106.58	106.92	コアに斑状の褐色汚染が見られる。	-	-	-	106.58	106.92	106.58～106.92m:斑状の褐色汚染が見られる。	-
387	106.87	106.87	30°の割れ目に、汚染されて褐色となった砂～シルトが厚さ3mmで挟む。	-	-	-	106.87	106.87	106.87m:30°で幅3mmの汚染されて褐色となった砂～シルトを挟む。	-
388	107.11	107.31	(コアの形状欄)IVランク	107.11	107.31	(コアの形状欄)Ⅱランク	107.11	107.31	(コアの形状欄)Ⅱランク	-
389	107.47	108.34	堅硬な柱状コアが主体。割れ目やコア表面にマンガンと褐色汚染が見られるが挟む物はほとんど見られない。	-	-	-	107.47	108.34	107.47～108.34m:堅硬な柱状コアが主体で、割れ目やコア表面にマンガンと褐色汚染が見られるが、挟む物はほとんど見られない。	-
390	107.91	108.34	(コアの形状欄)Ⅲランク	107.91	108.34	(コアの形状欄)Ⅱランク	107.91	108.34	(コアの形状欄)Ⅱランク	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名:H27-B-4

No.	コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
	上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容		
			コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
391	108.44	108.71	弱い剪断破壊を受け、コアは軟質となる。割れ目も若干不鮮明となる。	108.44	108.71	破砕部、最新活動面は上端(最も直線的な面)			●108.44~108.71m:破砕部 108.44~108.63m:粘土混じり礫状部(Hj) 上端52°で直線的に、下端45°で不明瞭に連続。径2~10mmの粘土化した岩片主体で、全体に軟質で灰白色を呈し、弱い縞状構造が見られる。 108.63~108.67m:粘土質礫状部(Hb) 上端45°で不明瞭に、下端57°で漸移的に連続。径10mm以下の粘土化した岩片主体で、軟質。上位より変質し灰白色を呈する。幅30mm。 108.67~108.71m:礫質粘土状部(Hb) 上端57°で漸移的に、下端62°で波打って連続。褐色汚染が明瞭で、褐色の軟質な基質に径10mm以下の岩片を含む。縞状構造が見られる。幅35mm。		・硬軟、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織の有無、境界面や細粒部の連続性・直線性、最新活動面の記載は別資料で示すこととし、柱状図には記載しない。
392	-	-	-	108.44	108.63	粘土混じり礫状部(Hj) 上端52°で直線的に、下端45°で不明瞭に連続。径2~10mmの粘土化した岩片主体で、全体に軟質で灰白色を呈し、弱い縞状構造が見える。含まれる細粒部は網目状で、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。					
393	-	-	-	108.63	108.67	粘土質礫状部(Hj) 幅30mm程度。上端45°で不明瞭に、下端57°で漸移的に連続。径10mm以下の粘土化した岩片主体。全体に軟質。上位より変質し灰白色を呈する。含まれる細粒部は網目状に分布し、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。	108.44	108.71			
394	108.67	108.71	褐色汚染が明瞭。褐色の軟質な基質に礫状部が点在する。	108.67	108.71	礫質粘土状部(Hb) 褐色汚染が明瞭。褐色の軟質な基質に礫状部が点在する。幅35mm程度。 上端57°で漸移的に、下端62°で境界は波打って連続。原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織は褐色汚染のため不明瞭。径10mm以下の岩片を含む。縞状構造が見られる。					
395	108.67	108.71	(破砕度区分欄)Hj	108.67	108.71	(破砕度区分欄)Hb	108.67	108.71	(破砕度区分)Hb	-	
396	108.44	108.71	(コアの硬さ欄)Dランク (変質欄)3ランク	108.44	108.71	(コアの硬さ欄)Eランク (変質欄)4ランク	108.44	108.71	(コアの硬さ欄)Eランク (変質欄)4ランク	-	
397	108.44	108.71	(岩級区分欄)D	108.44	108.71	(岩級区分欄)CL	108.44	108.71	(岩級区分欄)CLに含める	-	
398	108.71	109.79	割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化も見られ、やや脆弱である。	108.71	109.79	傾斜40~60°の割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化も見られ、やや脆弱である。	108.71	109.79	108.71~109.79m:傾斜40~60°の割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化も見られ、やや脆弱である。	-	
399	108.71	108.90	2方向の割れ目が明瞭で、格子状となる。	108.71	108.90	直交する2方向の割れ目が明瞭で、格子状となる。	108.71	108.90	108.71~108.90m:直交する2方向の割れ目が明瞭で、格子状となる。	-	
400	108.71	140.00	(変質欄)3ランク	108.71	140.00	(変質欄)2ランク	108.71	140.00	(変質欄)2ランク	-	
401	-	-	-	108.90	109.03	砂礫状を呈し、一部高角度割れ目に流入する。	108.90	109.03	108.90~109.03m:砂礫状を呈し、一部高角度割れ目に流入する。	-	
402	-	-	-	109.41	109.41	傾斜48°で幅0.5mmの灰白色粘土とマンガンを挟む。下端側幅1.5cm程度は珪化し、にぶい橙色に変色して原岩組織も不明瞭となる。	109.41	109.41	109.41m:傾斜48°で幅0.5mmの灰白色粘土とマンガンを挟む。下端側幅1.5cm程度は珪化し、にぶい橙色に変色して原岩組織も不明瞭となる。	-	
403	-	-	-	109.76	109.79	傾斜50°の割れ目の間が幅3cm程度で変質し、灰白色を呈する。下端側の健岩部との境界は明瞭。	109.76	109.79	109.76~109.79m:傾斜50°の割れ目の間が幅3cm程度で変質し、灰白色を呈する。下端側の健岩部との境界は明瞭である。	-	
404	109.79	110.03	(割れ目状態欄)cランク	109.79	110.03	(割れ目状態欄)bランク	109.79	110.03	(割れ目状態欄)bランク	-	
405	109.89	110.05	(コアの硬さ欄)cランク	109.89	110.05	(コアの硬さ欄)bランク	109.89	110.05	(コアの硬さ欄)bランク	-	

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-4)

孔名: H27-B-4

コア観察カード			通正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの通正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを通正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
406	110.03	110.78			微細な割れ目集中する所もあるが、コアは硬く、割れ目も多くは密着している。 <input checked="" type="checkbox"/>	109.79	110.78	109.79~110.78m: 微細な割れ目が密集する所もあるが、コアは硬く、割れ目の多くは密着する。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
407	-	-			-	109.79	110.38	109.79~110.38m: 傾斜80°程度の割れ目が複数分布する。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
408	110.68	110.78	(コアの硬さ欄)Bランク			110.68	110.78	(コアの硬さ欄)Cランク	-
409	110.68	110.78	(岩級区分欄)OL			110.68	110.78	(岩級区分欄)OMに含める	-
410	111.07	111.12	(コアの硬さ欄)Cランク			111.07	111.12	(コアの硬さ欄)Bランク	-
411	111.12	111.22	(コアの形状欄)IVランク			111.12	111.22	(コアの形状欄)Vランク	-
412	-	-			-	111.22	111.59	111.22~111.59m: 傾斜80~90°程度の割れ目が複数分布する。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
413	111.57	111.57	付近、局所的に割れ目面が鮮やかな青緑色に変色している。			-	-	111.57m付近、局所的に割れ目面が鮮やかな青緑色に変色する。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
414	111.79	112.82	(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)OM			111.79	112.82	(コアの形状欄)IIIランク (岩級区分欄)OH	-
415	112.84	113.03	高角度の割れ目が優勢である。シャープな割れ目は見られないが、挟在物は無く、弱い褐色染が認められる。			112.84	113.03	傾斜60~80°の高角度の割れ目が優勢である。シャープな割れ目は見られないが、挟在物は無く、弱い褐色染が認められる。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
416	113.41	113.54	割れ目がやや卓越する。113.43mの割れ目沿いに劣化が見られ、幅5~30mm軟質、脆弱となる。			113.41	113.54	微細な割れ目がやや発達する。113.43mの割れ目沿いに劣化が見られ、幅5~30mm軟質、脆弱となる。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
417	113.41	113.54	(岩級区分欄)OL			113.41	113.54	(岩級区分欄)OMに含める	-
418	114.42	114.57	(コアの形状欄)IVランク			114.42	114.57	(コアの形状欄)IIIランク	-
419	114.57	114.76	割れ目が卓越する。114.60~114.66m、この間40°程度の平行した割れ目が密集。114.73m付近は礫~岩片状となる。			114.57	114.76	114.57~114.76m: 割れ目が発達する。114.60~114.66m間は40°程度の平行した割れ目が密集する。114.73m付近は礫~岩片状となる。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
420	114.57	114.76	(岩級区分欄)OL			114.57	114.76	(岩級区分欄)OMに含める	-
421	115.40	115.54	115.46m付近の2条の潜在的な割れ目を中心に褐色汚染が明瞭。黄鉄鉱の分解により生じた水酸化鉄である。			115.40	115.54	115.40~115.54m: 115.46m付近の2条の潜在的な割れ目を中心に褐色汚染が明瞭である。黄鉄鉱を中心に褐色化が顕著に見られる。黄鉄鉱の分解により生じた水酸化鉄である。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
422	116.11	116.52	(岩級区分欄)OM			116.11	116.52	(岩級区分欄)OHに含める	-
423	116.30	116.30	57°の割れ目間に厚さ5mmの褐色に汚染された砂状の挟在物が見られる。			-	-	116.30m: 57°で幅5mmの褐色に汚染された砂状挟在物が見られる。 <input checked="" type="checkbox"/>	-
424	116.52	119.32	柱状~長柱状の堅硬なコアが主体となる。			-	-	116.52~119.32m: 柱状~長柱状の堅硬なコアが主体となる。 <input checked="" type="checkbox"/>	-